

履修について

課程正科生

- ・課程正科生は日本の大学・短期大学を卒業して、その基礎資格を基に3年次編入学をして、教員免許状・学芸員資格取得に必要な科目の単位のみを履修することになります。（必要な単位を修得すれば、修了（自主退学）となります。）
- ・教員免許状に必要な教職に関する科目・教科に関する科目は、すべて本学で修得することを原則とします。ただし、出身の大学・短期大学の在籍していた学科が取得を希望する同一の学校種（中学校、高等学校教諭の場合は、同一学校種および同一教科）の課程認定を受けており、出身大学・短期大学より「学力に関する証明書」が提出された場合に限り、履修を免除することがあります。ただし、この場合は該当科目の単位が本学で開設している科目の単位数を充たしていることが条件となります。
- ・教員免許状を取得する際、日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作各2単位が必要となります。出身大学、短期大学で修得していない場合は履修を要します。（〔教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通〕参照）修得済であるかの確認は、上記「学力に関する証明書」によって行います。
本学での開講科目名は日本国憲法→日本国憲法、体育→体育講義・実技、外国語コミュニケーション→英語、情報機器の操作→情報活用となります。
- ・二種免許状取得の場合も、本学の開講科目の履修期との関係から、1年間では取得できません。
- ・本学では独自の教育課程を組んでおり、それにより課程認定を受けていますので、取得課程によっては免許法上の最低修得単位数を上回る単位を履修しなければならない場合があります。
- ・課程正科生の免許状・資格取得課程は次頁以降となります。

●「幼稚園教諭」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法 定 科 目 区 分		開 講 科 目	単位数		履修 年次	幼 一	幼 二	
				通信	面接				
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○	○	
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○	○	
			発達心理学Ⅰ	1	1	4	○	○	
			障害児心理学	2		4	○	○	
			教育社会学	2		3	○	○	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○	○	
			保育内容総論	1		3	○	○	
			保育内容指導法Ⅰ（健康）		1	3	○	○	
			保育内容指導法Ⅱ（人間関係）		1	3	○	○	
			保育内容指導法Ⅲ（環境）		1	3	○	○	
			保育内容指導法Ⅳ（言葉）		1	3	○	○	
			保育内容指導法Ⅴ（音楽表現）		1	3	○	○	
			保育内容指導法Ⅵ（造形表現）		1	3	○	○	
			保育内容指導法Ⅶ（健康）	1		3	○	○	
			保育内容指導法Ⅷ（人間関係）	1		3	○	○	
			保育内容指導法Ⅸ（環境）	1		3	○	○	
			保育内容指導法Ⅹ（言葉）		1	3	○	○	
			保育内容指導法Ⅺ（音楽表現）		1	3	○	○	
			保育内容指導法Ⅻ（造形表現）		1	3	○	○	
			児童文化Ⅰ（劇表現）	1		4	○	○	
			教育方法学	2		3	○	○	
			生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	保育原理Ⅰ	2		3	○	○
				幼児理解・保育相談	2		4	○	○
				教育相談	2		3	○	○
	第五欄	教育実習	幼児教育実習		5	4	○	○	
	第六欄	教職実践演習	教職実践演習（幼・小）	1	1	4	○	○	
教科に関する科目	国語	国語Ⅰ	2		3	△	△		
	算数	数学Ⅰ	2		3	△	△		
	生活	生活Ⅰ		2	3	△	△		
	音楽	音楽実技Ⅰ		2	3～4	○	○		
		音楽実技Ⅱ		2	3～4	○			
		音楽理論Ⅰ		2	3	○	○		
	図画工作	図画工作Ⅰ		2	3	○	○		
	体育	専門体育Ⅰ		2	3	○	○		
計			29	28		55	51		

幼稚園教諭一種免許状、幼稚園教諭二種免許状を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※幼稚園教諭一種免許状を取得するためには、幼一欄に△印を付された科目より2科目が選択必修です。

※幼稚園教諭二種免許状を取得するためには、幼二欄に△印を付された科目より1科目が選択必修です。

※「保育内容指導法」については（ ）内の表記が同じものを両方で1科目（2単位）として履修してください。1単位での履修はできません。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（[教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通]）

◎「音楽実技」については「履修と学習の手引」をご覧ください。

◎実習については「実習について」をよくお読みください。

●「小学校教諭」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法 定 科 目 区 分		開 講 科 目	単位数		履修年次	小 一	小 二
				通信	面接			
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○	○
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○	○
			発達心理学Ⅰ	1	1	4	○	○
			障害児心理学	2		4	○	○
			教育社会学	2		3	○	○
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○	○
			国語科教育法	1	1	3	○	△
			社会科教育法	1	1	3	○	△
			算数科教育法	1	1	3	○	△
			理科教育法	1	1	4	○	△
			生活科教育法	1	1	4	○	△
			家庭科教育法	1	1	4	○	△
			音楽科教育法	1	1	3	○	○
			図画工作科教育法	1	1	3	○	○
			体育科教育法	1	1	3	○	○
			道德教育の研究	2		3	○	○
			特別活動の指導法	2		3	○	○
			教育方法学	2		3	○	○
			生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○
	教育相談	2			3	○	○	
第五欄	教育実習	初等教育実習		5	4	○	○	
第六欄	教職実践演習	教職実践演習（幼・小）	1	1	4	○	○	
教科に関する科目		国語（書写を含む。）	国語Ⅰ	2		3	○	
			書写書道	2		4	○	
	社 会	社会Ⅰ	1	1	3	○		
	算 数	数学Ⅰ	2		3	○		
	理 科	理科Ⅰ	2		3	○		
	生 活	生活Ⅰ		2	3	○		
	音 楽	音楽実技Ⅰ		2	3～4	○	○	
		音楽実技Ⅱ		2	3～4	○		
		音楽理論Ⅰ		2	3	○	○	
	図画工作	図画工作Ⅰ		2	3	○	○	
	家 庭	家庭Ⅰ		2	3	○		
	体 育	専門体育Ⅰ		2	3	○	○	
教科又は教職に関する科目			介護体験実習		1	4	○	○
計				40	32		72	50

小学校教諭一種免許状、小学校教諭二種免許状を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※小学校教諭二種免許状を取得するためには、小二欄に△印を付された科目より3科目が選択必修です。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（〔教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通〕）

◎「音楽実技」については「履修と学習の手引」をご覧ください。

◎実習については「実習について」をよくお読みください。

●「公民」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法定科目区分		開講科目	単位数		履修年次	高一
				通信	面接		
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○
			教育心理学	2		3	☆
			発達心理学	2		4	☆
			障害児心理学	2		4	○
			教育社会学Ⅰ	2		3	○
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○
			社会科・公民科教育法Ⅰ	2		3	○
			社会科・公民科教育法Ⅱ	1	1	3	○
			特別活動の指導法	1	1	3	○
			教育方法学	1	1	3	○
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○
			教育相談	2		3	○
	第五欄	教育実習	高等学校教育実習		3	4	○
	第六欄	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○
教科に関する科目	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」		法学		2	3	○
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」		社会と制度Ⅰ		2	4	○
			社会と制度Ⅱ		2	4	○
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		心理学概論	4		3	○
			発達心理学Ⅰ（幼児・学童）	1	1	3	○
			社会心理学	2	2	3	○
			学習心理学	2	2	3	○
			人格心理学	2	2	3	○
			心理学研究法	4		3	○
			臨床心理学	2	2	3	○
	計			45	18		61

高等学校教諭一種免許状を取得するためには、高一欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※☆印を付された科目は、いずれか1科目が選択必修です。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（〔教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通〕）

◎実習については【実習について】をよくお読みください。

●「福祉」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法 定 科 目 区 分		開 講 科 目	単位数		履修 年次	高 一
				通信	面接		
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○
			教育心理学	2		3	☆
			発達心理学	2		4	☆
			障害児心理学	2		4	○
			教育社会学Ⅰ	2		3	○
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○
			福祉科教育法Ⅰ	2		3	○
			福祉科教育法Ⅱ	1	1	3	○
			特別活動の指導法	1	1	3	○
教育方法学			1	1	3	○	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目		生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○	
		教育相談	2		3	○	
第五欄	教育実習	高等学校教育実習		3	4	○	
第六欄	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○	
教科に関する科目		社会福祉学（職業指導を含む。）	社会福祉学Ⅰ（含職業指導）	2		3	○
			社会福祉学Ⅱ	2		3	○
			諸外国の社会福祉Ⅰ	2		3	○
			諸外国の社会福祉Ⅱ	2		3	○
		高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉	高齢者福祉論Ⅰ	2		4	○
			児童福祉学Ⅰ	2		3	○
			障害福祉論Ⅰ	2		3	○
		社会福祉援助技術	社会福祉援助技術総論Ⅰ	2		3	○
			社会福祉援助技術総論Ⅱ	2		3	○
			ソーシャルワーク論Ⅰ	2		3	○
		介護理論及び介護技術	介護概論Ⅰ	1	1	3	○
			介護技術		1	3	○
		社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	社会福祉援助技術現場実習		4	4	○
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1	3	○
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	2		3	○
			介護実習Ⅰ		2	3	○
		人体構造及び日常生活行動に関する理解	心理学	2		3	○
			医学一般Ⅰ	1	1	3	○
			こころとからだのしくみⅠ	2		3	○
			こころとからだのしくみⅡ	2		3	○
		加齢及び障害に関する理解	医学一般Ⅱ	2		3	○
計				56	17		71

高等学校教諭一種免許状を取得するためには、高一欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※「社会福祉援助技術現場実習」を実施するためには、「社会福祉援助技術現場実習指導」を履修済であることが必要です。

※☆印を付された科目は、いずれか1科目が選択必修です。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（〔教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通〕）

◎実習については【実習について】をよくお読みください。

●「養護教諭」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法 定 科 目 区 分		開 講 科 目	単位数		履修 年次	高 一
				通信	面接		
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○
			教育心理学	2		3	☆
			発達心理学	2		4	☆
			障害児心理学	2		4	○
			教育社会学Ⅰ	2		3	○
	第四欄	教育課程に関する科目	教育課程論	2		3	○
			道德教育の指導法	1	1	3	○
			特別活動の指導法	1	1	3	○
			教育方法学	1	1	3	○
			生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導論	2		4
教育相談	2				3	○	
第五欄	養護実習	養護実習		5	4	○	
第六欄	教職実践演習	教職実践演習（養護教諭）	1	1	4	○	
養護に関する科目		衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	衛生学	2		4	○
			公衆衛生学	2		4	○
	学校保健	学校保健Ⅰ	2		3	○	
		学校保健Ⅱ	2		3	○	
	養護概説	養護概説	2		3	○	
	健康相談活動の理論及び方法	健康科学	2		3	○	
		健康相談活動	2		3	○	
	栄養学（食品学を含む。）	栄養学	2		4	○	
		食品学	2		4	○	
	解剖学及び生理学	解剖生理学	2		4	○	
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	免疫学	2		4	○	
	精神保健	精神保健	2		3	○	
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	基礎看護	2		3	○	
		小児看護	2		3	○	
		成人看護	2		3	○	
		母性保健	2		3	○	
		学校救急看護		2	3	○	
精神看護		2		4	○		
看護実習			1	4	○		
計				56	12		66

養護教諭一種免許状を取得するためには、養一欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※☆を付された科目印は、いずれか1科目が選択必修です。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（〔教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通〕）

◎実習については【実習について】をよくお読みください。

●「国語」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法 定 科 目 区 分		開 講 科 目	単位数		履修 年次	中 一	中 二	高 一	中一＋ 高一	
				通信	面接						
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○	○	○	○	
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○	○	○	○	
			教育心理学	2		3	☆	☆	☆	☆	
			発達心理学	2		4	☆	☆	☆	☆	
			障害児心理学	2		4	○	○	○	○	
			教育社会学Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○	○	○	○	
			国語科教育法Ⅰ	2		3	○	○	○	○	
			国語科教育法Ⅱ	1	1	3	○	○	○	○	
			道德教育の指導法	1	1	3	○	○	▲	○	
			特別活動の指導法	1	1	3	○	○	○	○	
			教育方法学	1	1	3	○	○	○	○	
		生徒指導、教育相談 及び進路指導等に関する科目	生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○	○	○	○	
教育相談			2		3	○	○	○	○		
第五欄	教育実習	中学校教育実習		5	4	○	○	／	○		
		高等学校教育実習		3	4	／	／		○		
第六欄	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○	○	○	○		
教科に関する科目	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	日本語概説Ⅰ	2		3	○	○	○	○		
		日本語概説Ⅱ	2		3	○	○	○	○		
		日本語表現法Ⅰ		1	3	○	○	○	○		
		日本語表現法Ⅱ		1	3	○	○	○	○		
		日本語の語法Ⅰ	2		3	○		○	○		
		日本語の歴史Ⅰ	2		3	○	○	○	○		
		日本語の歴史Ⅱ	2		4	○		○	○		
		日本語の音声		2	3	○	○	○	○		
	国文学（国文学史を含む。）	日本古典文学の基礎Ⅰ	1		3	○		○	○		
		日本古典文学の基礎Ⅱ	1		4	○		○	○		
		日本文学概説Ⅱ		2	3	○	○	○	○		
		日本古典文学史Ⅰ	2		3	○	○	○	○		
		日本古典文学史Ⅱ	2		4	○	○	○	○		
		日本近現代文学史Ⅰ	2		3	○	○	○	○		
		日本近現代文学史Ⅱ	2		4	○	○	○	○		
	漢文学	漢文学の基礎Ⅰ	1		3	○	○	○	○		
		漢文学の基礎Ⅱ	1		3	○	○	○	○		
	書道（書写を中心とする。）	書写・書道Ⅰ	1		3	○	○	／	○		
		書写・書道Ⅱ		1	3	○	○		／	○	
	教科又は教職に関する科目			介護体験実習		1	4	○	○	／	○
	計				48	21		64	58	57	64

中学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状、高等学校教諭一種免許状および、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※▲は「教科又は教職に関する科目」になります。

※中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状両方の免許状を取得する場合は、教育実習は中学校教育実習（5単位）のみ履修してください。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（[教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通]）

◎実習については【実習について】をよくお読みください。

●「社会」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法 定 科 目 区 分		開 講 科 目	単位数		履修 年次	中 一	中 二	
				通信	面接				
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○	○	
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○	○	
			教育心理学	2		3	☆	☆	
			発達心理学	2		4	☆	☆	
			障害児心理学	2		4	○	○	
			教育社会学Ⅰ	2		3	○	○	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○	○	
			社会科・地歴科教育法Ⅰ	2		3	○	○	
			社会科・地歴科教育法Ⅱ	1	1	3	○	○	
			社会科・公民科教育法Ⅰ	2		3	○	○	
			社会科・公民科教育法Ⅱ	1	1	3	○	○	
			道德教育の指導法	1	1	3	○	○	
特別活動の指導法			1	1	3	○	○		
教育方法学			1	1	3	○	○		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目		生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○	○		
	教育相談	2		3	○	○			
第五欄	教育実習	中学校教育実習		5	4	○	○		
第六欄	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○	○		
教科に関する科目	日本史及び外国史	日本史概説Ⅰ	2		3	○	○		
		日本史概説Ⅱ	2		3	○	○		
		日本古代史Ⅰ		2	3	△			
		日本古代史Ⅱ	2		4	△			
		日本中世史Ⅰ	2		3	△			
		日本中世史Ⅱ	2		4	△			
		日本近世史Ⅰ	2		3	△			
		日本近世史Ⅱ	2		4	△			
		日本近現代史Ⅰ	2		3	△			
		日本近現代史Ⅱ	2		4	△			
		西洋史概説	2		3	○	○		
		東洋史概説	2		3	○	○		
	地理学（地誌を含む。）	地理学Ⅰ	2		3	○	○		
		地理学Ⅱ	2		3	○	○		
		地誌学	2		3	○	○		
	「法学、政治学」	政治学入門	2		4	○	○		
	「社会学、経済学」	社会学入門Ⅰ	2		3	○	○		
		経済学入門	2		3	○	○		
	「哲学、倫理学、宗教学」	倫理学入門	2		3	○	○		
		宗教学入門	2		4	○	○		
	教科又は教職に関する科目			介護体験実習		1	4	○	○
	計				66	14		68	62

中学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※中学校教諭一種免許状を取得するためには、中一欄に△印を付された科目より6単位以上が選択必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（〔教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通〕）

◎実習については【実習について】をよくお読みください。

●「地理歴史」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法定科目区分		開講科目	単位数		履修年次	高一
				通信	面接		
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○
			教育心理学	2		3	☆
			発達心理学	2		4	☆
			障害児心理学	2		4	○
			教育社会学Ⅰ	2		3	○
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○
			社会科・地歴科教育法Ⅰ	2		3	○
			社会科・地歴科教育法Ⅱ	1	1	3	○
			特別活動の指導法	1	1	3	○
			教育方法学	1	1	3	○
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○
			教育相談	2		3	○
	第五欄	教育実習	高等学校教育実習		3	4	○
	第六欄	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○
教科に関する科目	日本史	日本史	日本史概説Ⅰ	2		3	○
			日本史概説Ⅱ	2		3	○
			日本考古学Ⅰ		2	3	○
			日本考古学Ⅱ	2		3	△
			日本古代史Ⅰ		2	3	○
			日本古代史Ⅱ	2		4	△
			日本中世史Ⅰ	2		3	○
			日本中世史Ⅱ	2		4	△
			日本近世史Ⅰ	2		3	○
			日本近世史Ⅱ	2		4	△
			日本近現代史Ⅰ	2		3	○
			日本近現代史Ⅱ	2		4	△
			日本美術史Ⅰ	2		4	○
			日本美術史Ⅱ	2		4	△
	外国史	外国史	西洋史概説	2		3	○
			東洋史概説	2		3	○
	人文地理学及び自然地理学	人文地理学及び自然地理学	地理学Ⅰ	2		3	○
			地理学Ⅱ	2		3	○
	地誌	地誌	地誌学	2		3	○
教科又は教職に関する科目			道徳教育の指導法	1	1	3	▲
計				59	12		59

高等学校教諭一種免許状を取得するためには、高一欄に○印を付されたすべての科目と△印を付された科目より4単位以上が選択必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※▲は「教科又は教職に関する科目」になります。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（〔教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通〕）

◎実習については【実習について】をよくお読みください。

●「社会」（中一種）及び「地理歴史」（高一種）免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法 定 科 目 区 分		開 講 科 目	単位数		履修 年次	中一 社会	高一 地歴	中一・社会 ＋ 高一・地歴	
				通信	面接					
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○	○	○	
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○	○	○	
			教育心理学	2		3	☆	☆	☆	
			発達心理学	2		4	☆	☆	☆	
			障害児心理学	2		4	○	○	○	
			教育社会学Ⅰ	2		3	○	○	○	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○	○	○	
			社会科・地歴科教育法Ⅰ	2		3	○	○	○	
			社会科・地歴科教育法Ⅱ	1	1	3	○	○	○	
			社会科・公民科教育法Ⅰ	2		3	○	△	○	
			社会科・公民科教育法Ⅱ	1	1	3	○	△	○	
			道德教育の指導法	1	1	3	○	▲	○	
			特別活動の指導法	1	1	3	○	○	○	
			教育方法学	1	1	3	○	○	○	
		生徒指導、教育相談 及び進路指導等に関する科目	生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○	○	○	
	教育相談		2		3	○	○	○		
	第五欄	教育実習	中学校教育実習		5	4	○	△	○	
高等学校教育実習				3	4	△	○			
第六欄	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○	○	○		
教科に関する科目	(社 会)		(地 歴)							
	日本史及び外国史	日本史	日本史概説Ⅰ	2		3	○	○	○	
			日本史概説Ⅱ	2		3	○	○	○	
			日本古代史Ⅰ		2	3	△	○	○	
			日本古代史Ⅱ	2		4	△	△	△	
			日本中世史Ⅰ	2		3	△	○	○	
			日本中世史Ⅱ	2		4	△	△	△	
			日本近世史Ⅰ	2		3	△	○	○	
			日本近世史Ⅱ	2		4	△	△	△	
			日本近現代史Ⅰ	2		3	△	○	○	
			日本近現代史Ⅱ	2		4	△	△	△	
			日本考古学Ⅰ		2	3	△	○	○	
			日本考古学Ⅱ	2		3	△	△	△	
			日本美術史Ⅰ	2		4	△	○	○	
			日本美術史Ⅱ	2		4	△	△	△	
		外国史	西洋史概説	2		3	○	○	○	
			東洋史概説	2		3	○	○	○	
	地理学 (地誌を含む。)	人文地理学 及び自然地理学	地理学Ⅰ	2		3	○	○	○	
			地理学Ⅱ	2		3	○	○	○	
		地 誌	地誌学	2		3	○	○	○	
	「法学、政治学」		政治学入門	2		4	○	△	○	
	「社会学、経済学」		社会学入門Ⅰ	2		3	○	△	○	
			経済学入門	2		3	○	△	○	
	「哲学、倫理学、 宗教学」		倫理学入門	2		3	○	△	○	
			宗教学入門	2		4	○	△	○	
	教科又は教職に関する科目			介護体験実習		1	4	○	△	○
	計				72	19		68	59	78

中学校教諭一種免許状（社会）と高等学校教諭一種免許状（地理歴史）の両方を取得するためには、中一社会＋高一地歴欄に○印を付されたすべての科目と、△印を付された科目より4単位以上が必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※▲は「教科又は教職に関する科目」になります。

※中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状両方の免許状を取得する場合は、教育実習は中学校教育実習（5単位）のみ履修してください。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（[教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通]）

◎実習については【実習について】をよくお読みください。

●「書道」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法 定 科 目 区 分		開 講 科 目	単位数		履修 年次	高 一	
				通信	面接			
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○	
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○	
			教育心理学	2		3	☆	
			発達心理学	2		4	☆	
			障害児心理学	2		4	○	
			教育社会学Ⅰ	2		3	○	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○	
			書道科教育法Ⅰ	2		3	○	
			書道科教育法Ⅱ	1	1	3	○	
			特別活動の指導法	1	1	3	○	
			教育方法学	1	1	3	○	
		生徒指導、教育相談 及び進路指導等に関する科目	生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○	
教育相談			2		3	○		
第五欄	教育実習	高等学校教育実習		3	4	○		
第六欄	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○		
教科に関する科目	書道（書写を含む。）	書写・書道Ⅰ	1		3	○		
		書写・書道Ⅱ		1	3	○		
		楷書の技法（Ａ）Ⅰ	1		3	○		
		楷書の技法（Ａ）Ⅱ		1	3	○		
		行書の技法Ⅰ	1		3	○		
		行書の技法Ⅱ		1	3	○		
		かなの技法Ⅰ	1		3	○		
		かなの技法Ⅱ	1		3	○		
		楷書の技法（Ｂ）Ⅰ	1		3	○		
		楷書の技法（Ｂ）Ⅱ		1	3	○		
		草書の技法Ⅰ	1		4	○		
		草書の技法Ⅱ		1	4	○		
		隷書の技法	1		3	○		
		篆書の技法	1		3	○		
		書道史	中国書道史概説	2		3	○	
			日本書道史概説	2		3	○	
	「書論、鑑賞」	書学入門	2		3	○		
		書論・鑑賞	2		4	○		
	「国文学、漢文学」	日本古典文学史Ⅰ	2		3	○		
		日本古典文学史Ⅱ	2		4	○		
		日本近現代文学史Ⅰ	2		3	○		
		日本近現代文学史Ⅱ	2		4	○		
		漢文学の基礎Ⅰ	1		3	○		
		漢文学の基礎Ⅱ	1		3	○		
	教科又は教職に関する科目			道徳教育の指導法	1	1	3	▲
	計			52	13		61	

高等学校教諭一種免許状を取得するためには、高一欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※▲は「教科又は教職に関する科目」になります。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（[教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通]）

◎実習については【実習について】をよくお読みください。

●「英語」免許状取得課程（課程正科生）（2013年度以降入学生）

区分	法 定 科 目 区 分		開 講 科 目	単位数		履修 年次	中 一	中 二	高 一	中一 ＋ 高 一
				通信	面接					
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		3	○	○	○	○
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2		3	○	○	○	○
			教育心理学	2		3	☆	☆	☆	☆
			発達心理学	2		4	☆	☆	☆	☆
			障害児心理学	2		4	○	○	○	○
			教育社会学Ⅰ	2		3	○	○	○	○
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2		3	○	○	○	○
			英語科教育法Ⅰ	2		3	○	○	○	○
			英語科教育法Ⅱ		2	3	○	○	○	○
			道德教育の指導法	1	1	3	○	○	▲	○
			特別活動の指導法	1	1	3	○	○	○	○
		教育方法学	1	1	3	○	○	○	○	
第五欄	生徒指導、教育相談 及び進路指導等に関する科目	生徒指導（進路指導を含む）	2		4	○	○	○	○	
		教育相談	2		3	○	○	○	○	
第六欄	教育実習	中学校教育実習		5	4	○	○	／	／	○
		高等学校教育実習		3	4	／	／			
第六欄	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	1	1	4	○	○	○	○	
教科に関する科目	英語学	英語学	英語の語彙と用法Ⅰ	1		3	○		○	○
			英語の語彙と用法Ⅱ		1	3	○		○	○
			英語の語彙と用法Ⅲ	1		3	○		○	○
			英語の語彙と用法Ⅳ		1	3	○		○	○
			英語音声学Ⅰ		1	4	○		○	○
			英語音声学Ⅱ		1	4	○		○	○
			英語学入門Ⅰ	2		3	○	○	○	○
			英語学入門Ⅱ	2		3	○	○	○	○
			基礎英文法Ⅰ	2		3	△		△	△
			基礎英文法Ⅱ	2		3	△		△	△
	英米文学	英米文学	イギリス文学史Ⅰ	2		3	○	○	○	○
			イギリス文学史Ⅱ		2	3	○	○	○	○
			アメリカ文学史Ⅰ	2		3	○	○	○	○
			アメリカ文学史Ⅱ		2	3	○	○	○	○
			英米の詩Ⅰ	1		3	△		△	△
			英米の詩Ⅱ		1	4	△		△	△
			英米の小説Ⅰ	1		3	△		△	△
			英米の小説Ⅱ		1	4	△		△	△
			英米の批評・随筆Ⅰ	1		3	△		△	△
			英米の批評・随筆Ⅱ	1		3	△		△	△
	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	英語のスピーキング・リスニングⅠ		2	3	○	○	○	○
			英語のスピーキング・リスニングⅡ		2	3	△		△	△
	異文化理解	異文化理解	現代イギリス事情Ⅰ	1		4	○	○	○	○
			現代イギリス事情Ⅱ	1		4	△		△	△
			現代アメリカ事情Ⅰ	1		4	○	○	○	○
			現代アメリカ事情Ⅱ	1		4	△		△	△
教科又は教職に関する科目			介護体験実習			○	○	／	○	
計			46	29		64	50	59	64	

中学校教諭一種免許状、中学校教諭二種免許状、高等学校教諭一種免許状および、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得するためには、各欄に○印を付されたすべての科目が必修です。

※中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状および、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の両方を取得するためには、中一欄、高一欄および、中一+高一欄に△印を付された科目よりいずれか8単位が選択必修です。

※☆印は、いずれか1科目が選択必修です。

※▲は「教科又は教職に関する科目」になります。

※中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状両方の免許状を取得する場合は、教育実習は中学校教育実習（5単位）のみ履修してください。

※教員免許取得希望者は免許法施行規則第66条の6に定める科目が別途必修になります。（〔教職専門科目／教員免許状、保育士資格取得希望者共通〕）

◎実習については【実習について】をよくお読みください。

●教員免許状取得課程共通

教員免許状取得のためには、〔課程正科生〕の各免許種に記載されている科目の修得のほかに「教育職員免許法第5条別表1備考4号」並びに「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定める科目（下表）も修得する必要があります。出身大学等で未修得の場合は各々の科目を別途履修指定します。指定のあった場合は必ず履修してください。

▶教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

法 定 科 目	開 講 科 目	単位数		履修 年次	教 免
		通信	面接		
日本国憲法	日本国憲法	2		3	○
体育	体育講義	1		3	○
	体育実技		1	3	○
外国語コミュニケーション	英語		2	3	○
情報機器の操作	情報活用		2	3	○

(1)体育科目「体育講義」と「体育実技」はセットでの受講となります。（片方のみの受講はできません）

(2)小学校または中学校の教員免許状を希望する方は介護体験実習が必要です。（〔実習について〕を参照）

●「学芸員」資格取得課程（2013年度以降入学生）

	法 定 科 目	単位数	開 講 科 目	単位数		履修 年次	学 芸 員
				通信	面接		
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2		3	○
	博物館概論	2	博物館概論	2		3	○
	博物館経営論	2	博物館経営論	2		3	○
	博物館資料論	2	博物館資料論	2		3	○
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2		3	○
	博物館展示論	2	博物館展示論	1	1	3	○
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2		4	○
	博物館教育論	2	博物館教育論	2		3	○
	博物館実習	3	博物館実習		4	4	○
計				15	5		20

上記のすべての科目を履修してください。（他大学等で一部修得済みでも、一切認定しません）